

## 平成 27 年度小児等在宅医療連携拠点事業 実施事業案

平成 27 年 7 月 17 日  
障 害 福 祉 課

## Ⅰ 小児等在宅医療連携拠点事業について

## 1 趣旨・目的

平成 25 年度、26 年度に実施していた国のモデル事業において得られた成果を踏まえて、在宅医療を必要とする医療依存度の高い小児等が、在宅において必要な医療・福祉サービス等が提供され地域で安心して療養できるよう、福祉・教育などとも連携し、地域のネットワーク化及び人材育成を行い、家族等からの相談支援体制の充実を図りながら、地域で在宅療養を支える体制を構築する。

平成 27 年度は千葉県障害児在宅医療・訪問看護研究会の開催や小児等訪問看護師育成研修事業、喀痰吸引等研修事業等を実施する。

## Ⅱ 小児等訪問看護師育成研修事業

## 1 趣旨・目的

訪問看護ステーションについては、医療的ケアの必要な小児等が在宅で療養できるように重要な役割が期待される一方で、小児を対象とした訪問看護ステーションが少ない現状があり、本研修を通じて、小児を対象とする訪問看護ステーションの拡大を図る。

## 2 事業内容

集合研修の開催や事業所等への訪問等により、地域の訪問看護ステーションの職員に対し、医療的ケア等に関する技術的支援や助言・指導、情報提供等を行う。

## ①重症児を受け入れる訪問看護師研修

内 容 重症児の訪問看護に関心のある看護師を対象とした、「重症児の訪問看護に必要な基本的知識の獲得のための基本研修」を実施する（小児訪問看護に関心のある新人訪問看護師に対する「ベーシック研修」の内容含む）。

※参考カリキュラム（1.5 日／1 回）

	講義名	研修目標・内容
1	小児看護 病棟・在宅に共通する役割と目標	小児看護における看護師の役割、看護が目指すべき目標を理解し、現場に活かすことができる。
2	現場に活かす小児看護倫理	小児看護倫理について基本的な考え方を理解し、現場に活かすことができる。
3	障害のある子どもを持つ養育者の心理と訪問看護	障害のある子どもを持つ養育者の心理を理解し、小児訪問看護師の果たす役割について考える。
4	障害児の特徴と疾病	障害の原因や状態の特徴、必要な医療的ケアや実施時の注意点の基本を理解する。
5	在宅療養する障害児に対するリスクマネジメント	在宅ケアにおけるリスクマネジメントの基本概念、および、重症児・小児のリスクを把握するための視点を理解する。
6	重度障害児のリハビリテーション	重症児のリハビリテーションの特徴・目的、重症児の身体的特徴に必要なリハビリテーション・アプローチ（呼吸・姿勢など）の基本を理解する。
7	障害児が利用する制度・サービス	医療的ケアが必要な子どもの在宅生活に活用できる制度・サービスを理解する。
8	グループワーク まとめ	参加者による対話の中で、重症児の訪問看護・在宅支援サービスを行う上での不安、やりたいことややりがいを感じることを共有し、実践への意欲を涵養する。

対象地域      千葉県全域  
研修時期      平成 27 年度中

## ②超重症児を受け入れる訪問看護師研修

内 容 人工呼吸器装着児や超重症児に対する看護実践には課題が多く、対応できるステーションは限られているため、関心のある看護師を対象に、アセスメント力の獲得・向上を目的とした研修を実施する。

### ※参考カリキュラム

	講義名	研修目標・内容
1	①超重症児の定義と子どもを取り巻く現状 ②超重症児の身体・発達の特徴	超重症児の特徴を理解し、現場に活かすことができる。
2	ケースを用いて時系列での、在宅移行支援からの訪問看護師の役割を説明する	超重症児の在宅移行支援からの訪問看護師の役割について理解し、現場に活かすことができる。
3	超重症児のアセスメントの視点	超重症児の全身状態の見方を理解し、現場に活かすことができる。
4	事例紹介 早期療育における子どもの状態の理解を養育者と共有する看護師の関わり（親子入園） 早期療育の場面と在宅の場面	養育者が子どもの状態を理解できるよう支援する方策について理解し、現場に活かすことができる。

対象地域 千葉県全域  
研修時期 平成27年度中

## ③チームケアコンサルテーション

内 容 小児等の訪問看護を実施している訪問看護ステーション等が困難事例に対応する場合に、現地に出向いて問題を共有し、一緒に解決策を検討しながら実践・評価を行うなどのコンサルティングを行う。

対象地域 千葉県全域

### Ⅲ 喀痰吸引等研修事業

#### 1 趣旨・目的

県内で小児等の医療的ケアが行える介護職等が不足している地域で、本研修を通じて喀痰吸引等医療的ケアを実施できる人材を育成する。

#### 2 事業内容

喀痰吸引研修のうち基本研修について事業を委託する。

対象者 小児等の喀痰吸引を行うことを今後予定している者

対象地域 ①君津地域（袖ヶ浦市、君津市、富津市）

②東葛地域（野田市、我孫子市、流山市）、

③印旛地域（佐倉市、四街道市、八街市、栄町、酒々井町、  
富里町、芝山町）

※対象地域は、平成 26 年度小児等在宅医療連携拠点事業で喀痰吸引等研修を未実施だった市町村など、人材不足が見込まれる地域のうち、受講生募集の案内など本事業に協力していただける市町村を選定する。

#### 3 委託先（案）

①～③地域で研修を実施できる社会福祉士及び介護福祉士法施行規則（昭和 62 年厚生省令第 49 号）で規定される第 3 号研修の登録機関のうち各地域で 1 機関程度（計 3 機関）

#### 4 委託事業者選定方法

県内の社会福祉士及び介護福祉士法施行規則（昭和 62 年厚生省令第 49 号）で規定される第 3 号研修の登録機関へ募集案内し、実施計画を提出してもらい、応募多数の場合は、書類選考により決定する。

#### 申請書類（案）

- ・受託申請書
- ・実施計画（募集方法、開催方法） 任意様式
- ・見積書 任意様式